

滝沢市地域経済振興計画（第２次滝沢市総合計画市域全体計画経済産業部門の横断的計画）

概要版

１ 滝沢市地域経済振興計画の策定の趣旨

本計画は、「第２次滝沢市総合計画」の「経済産業部門」を遂行するための横断的な取組や事業を示し、経済産業部門の施策推進を加速させるために策定するものであり、これにより、部門が目指すビジョンの達成を目指します。

２ 滝沢市地域経済振興計画の計画期間

本計画は、令和７年度（２０２５年）から令和１３年度（２０３３年）までの７年間の計画です。なお、経済産業部門計画に変更があった際には、見直しを図るものとします。

３ 滝沢市地域経済振興計画の性格と役割

本計画は「様々な産業の活性化が繋がり広がるまち」の４つの施策だけでは対応しきれない産業間の横断的な事業の推進について示した補足的な計画として位置付けられます。

また、本計画の提示により、市内企業、産業従事者、教育研究機関、産業支援団体等の理解と協力を得ることで、連携・協働による積極的な事業展開が促進され、令和３年４月に施行された滝沢市産業振興条例の目的を達成することも期待するものであります。

４ 経済産業振興に関する基本的考え方

地域の経済循環は、市場の視点から「内的循環」と「外的循環」の２つに大きく分けることができます。内的循環は地域内の市場を基本とした経済循環であり、外的循環は地域外の市場と地域内の市場の関係性から成り立つ経済循環です。

滝沢地域の経済振興を進めるためには、地域内での取引を拡大させ、地域外から所得を稼ぐことが重要であり、次の２点を意識した産業振興策の検討が基本となります。

・ 地域内市場に対する地産地消の推進（地域内で取引を拡大させる）

滝沢地域内の需要に対しては、できるだけ地域内で供給することが求められます。各産業で「地産地消」を進めることで、地域内の経済循環を強化します。

・ 地域外市場に対する付加価値の高い商品やサービスの提供（地域外から所得を稼ぐ）

滝沢地域内で生産される商品の価値や生産性を高め、地域外の市場へ積極的に提供し、地域外からの所得を稼ぐことが重要となります。

5 滝沢市の持つ優位性と課題

人口・交通面の優位性と課題

周辺市町村の人口や通過人口を含め、多くの消費者を抱えています。一方で、市内の商店・特産品が少なく、地元消費を活かしきれていない状況であり、住民の買い物は盛岡市に流出していることから、滝沢市内の商業環境整備・特産品開発が必要となっています。

交通・観光資源の活用不足

盛岡駅・東北縦貫自動車道などアクセス面は良好であり、ツガワ未来館アピオ・鞍掛山・相の沢キャンプ場など集客施設もあるが、経済効果への活用が不十分となっています。また、周辺観光地（小岩井農場・温泉・スキー場等）との連携不足も課題となっています。

観光の再定義と誘客策

「チャグチャグ馬コ」など伝統行事の魅力を活かすことが必要である一方で、人口減少による地域市場縮小に対応するため、観光以外の訪問動機（施設誘致など）も検討することが必要となっています。

人材の強みと活用

人口規模や大学・研究機関の集積は大きな強みであり、岩手県立大学との連携による人材育成・企業誘致が進行しています。今後は市内全域への展開とさらなる産業集積・人材育成の強化が課題となっています。

企業誘致・土地利用の課題

新規企業誘致のための土地確保や既存企業拡張のための調整が必要であり、岩手県立大学周辺以外の新たな産業用地の検討も必要となっています。

地域経済の持続的活性化

企業誘致だけでなく、小規模な地域内の経済循環の創出・支援が必要となっています。また、地域コミュニティを基盤としたコミュニティビジネス等の創出とネットワーク形成が今後重要となります。そのようなことから、滝沢市の人材・大学資源を地域経済にどうつなげるかが今後のカギとなっています。

6 滝沢市地域経済振興戦略方針

（Ⅰ）基本方針（第2次滝沢市総合計画部門別計画）

①政策名称＝ビジョン（部門が目指す4年後のまち）

「様々な産業の活性化が繋がり広がるまち」

②部門が4年間で取り組むこと（ミッション）

「人材育成と公民連携、誘致の更なる推進とチャレンジの創出」

③分野ごとの施策

ア 観光物産分野

連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備

イ 企業振興分野

I C T関連を中心とした産業集積の促進と産学官連携による人材育成、地域産業の活性化

ウ 若者活躍推進分野

多様な連携による若者が活躍できる環境づくりと価値創造

エ 農林業分野

新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進

(2) 横断的経済振興方針

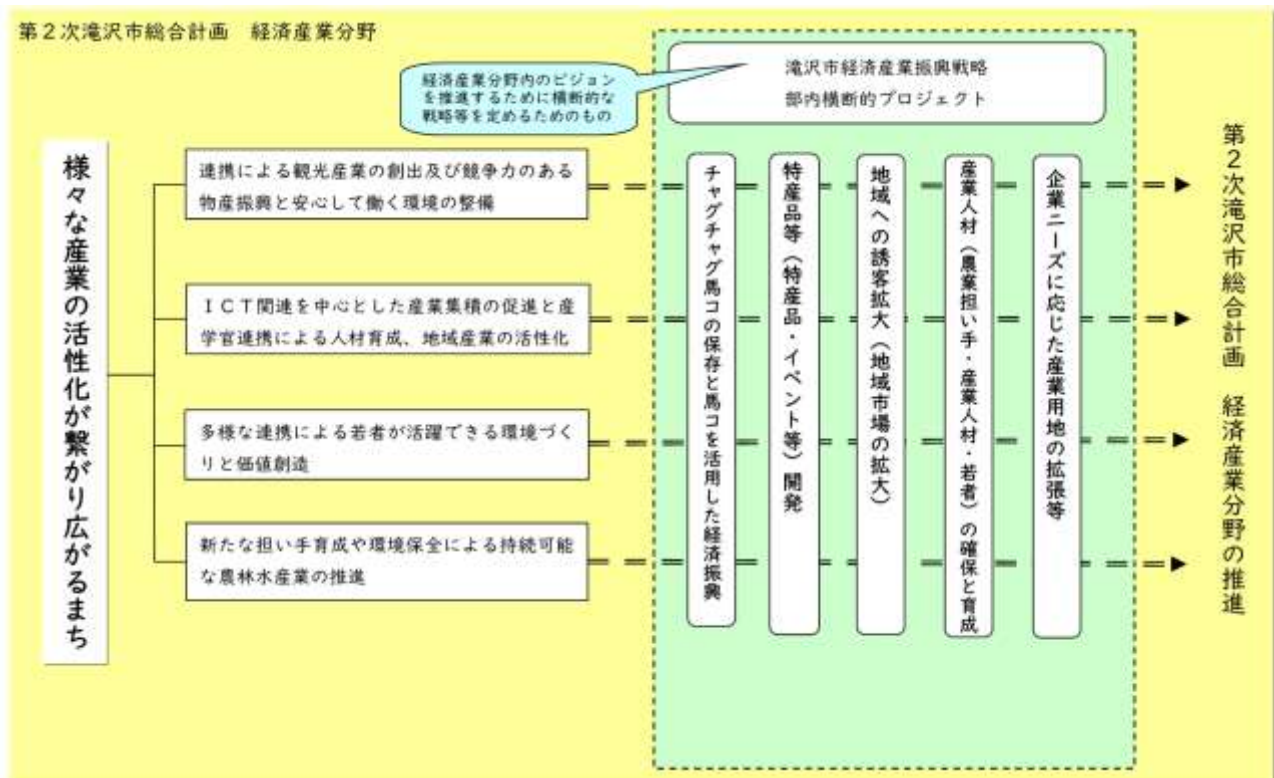
現代社会では、AI や IoT などの技術革新、消費者ニーズの多様化、少子高齢化や人口減少、さらには気候変動や環境問題といった複雑な社会課題により、産業の枠を超えた連携が求められています。農業、商業、観光、サービス、工業などが一体となった横断的な産業振興が重要となっています。

滝沢市もこうした状況は例外ではなく、令和3年に「産業振興条例」と「産業振興会議」を設け、多様な産業の連携を進めています。市は、岩手山の自然や伝統文化、農産物、大学・研究機関、IT 企業集積といった地域資源と人材を有しており、これらを活かすことが今後大きなカギとなってきます。

今後は、地域内市場に向けた地産地消の拡大と、地域外市場に対する付加価値商品の提供を同時に進めるため、滝沢市の課題や強みを踏まえ、従来の枠にとられない横断的な次の横断的なプロジェクトを掲げ、地域経済の構築を目指します。

- 1 チャグチャグ馬コの保存と馬コを活用した経済振興
- 2 特産品等（特産品、イベント等）開発
- 3 地域への誘客拡大（地域市場の拡大）
- 4 産業人材（農業担い手、産業人材、若者）の確保と育成
- 5 企業ニーズに応じた産業用地の拡張等

7 横断的経済振興プロジェクト



横断プロジェクト1

「チャグチャグ馬コの保存と馬コを活用した経済振興」

- ・ 伝統文化としてのチャグチャグ馬コの現状のPRの推進
- ・ 馬の飼養しやすい環境づくりの検討
- ・ チャグチャグ馬コを活用した地域内消費の推進と体験型観光の推進
- ・ チャグチャグ馬コの継承のための企業との連携

横断プロジェクト2

「特産品等（特産品、イベント等）開発」

- ・ 特産品等の開発のための農業、商業、工業、サービス業等の産業間の連携強化
- ・ 自然、文化、歴史等の背景も含めた物産等のPRと開発、販路拡大の強化
- ・ 滝沢市の「モノ」、「コト」、「ヒト」を繋ぐ組織や人材の発掘、育成

横断プロジェクト3

「地域への誘客拡大（地域市場の拡大）」

- ・ 北東北の人口をターゲットとした誘客施設（商業施設、MICE※等）の誘致の推進
- ・ 誘客者が滝沢地域内で消費する仕組みの推進

横断プロジェクト4

「産業人材（農業担い手、産業人材、若者）の確保と育成」

- ・ 魅力的な雇用機会の創出
- ・ 教育機関等と連携したキャリア支援の強化
- ・ 就農ハードルを下げる取組と積極的な情報発信

横断プロジェクト5

「企業ニーズに応じた産業用地の拡張等」

- ・ 岩手県立大学周辺の産業用地の整備
- ・ 岩手県立大学周辺以外の産業用地の検討
- ・ 市内企業からの拡張等の相談への対応

8 滝沢市地域経済振興計画の進行管理について

滝沢市地域経済振興計画実現のために経済産業部内での連携を強化し取り組むこととし、また、必要な部分については庁内関係課と連携のため、情報共有をはかり必要な場合には横断的なチームを結成し、実現に向けた取り組みを行うものとします。

また、滝沢市産業振興会議と共有を図るとともに、事業の実施にあたっては第2次滝沢市総合計画「経済産業部門」計画と同様進捗状況を共有するとともに、関係する産業支援機関等と連携することで、実効性を高めるとともに、加速度を付けて推進することとします。